

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	道路改築事業		路河川名等	国道403号		
事業毎の通番	2	市町村名	東筑摩郡 麻績村	箇所名(ふりがな)	梶浦～本町(かじうら～ほんまち)	
事業目的	(国)403号は新潟県新潟市を起点とし、長野県北部から千曲市、麻績村、筑北村、安曇野市を經由し松本市に至る主要な幹線道路であり、筑北地域の観光地及び長野自動車道へのアクセス道路としても利用されている。このうち、麻績村 梶浦～本町間は、幅員狭小でセンターラインが無い区間が存在し、円滑な走行に支障が生じている。また、長野自動車道麻績～安曇野間の通行止が生じた際の代替路となる路線でもある。このため、幅員狭小、線形不良区間の解消を目的とした道路拡幅事業を実施し、車両及び歩行者の円滑で安全な通行を確保するものである。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	長野県地域防災計画(第1次 緊急輸送路)					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：4,775台/日					
着手年度	平成30年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成35年度	費用対効果	1.7	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路築造工(現道拡幅) L=1030m、W=6.0(7.5~10.0)m			700,000	385,000 283,500 31,500	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少 災害に強い道路				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光振興				
評価の視点	必要性	○計画交通量：4,775台/日 ○代替道路の有無：代替道路なし ○医療・福祉・教育施設との連携：麻績小学校・筑北中学校への2次アクセス ○交通結節点アクセス：長野自動車道 麻績ICへの1次アクセス ○観光振興・地域の活性化：聖高原へのアクセス道路			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：第6次麻績村振興計画 ○緊急輸送道路の路線指定：第1次緊急輸送路に指定 ○地域指定：過疎地域、積雪地域			評価	A
	効率性	○費用便益比(B/C)：1.70 ○事業期間：6年間 ○工法等の比較検討：ルート比較検討を実施 ○他事業との連携：防災・安全交付金(交通安全)事業			評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数：1件(H25~H28) ○道路環境改善：朝夕の渋滞緩和 ○歩道整備：整備あり ○現況の車道幅員、半径、勾配：車道幅員4.8m			評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者を中心に周知(H27年度 麻績村役場職員と現地調査を実施) ○地域の取り組み：積極的な取り組みがある(国道403号道路整備期成同盟会) ○地域の合意形成：合意形成が図られている ○住民との協働：維持管理方針について自治会と協議を進める予定			評価	A
	所管課意見	事業の必要性、重要性及び効率性が高いため、平成30年度から新規事業化したい。			採択状況	総合評価
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。					

**位置図**

**状況写真**

**標準横断面図**

**平面図**

**事業概要説明図表**

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)403号は新潟県新潟市を起点とし、長野県北部から千曲市、麻績村、筑北村、安曇野市を經由し松本市に至る主要な幹線道路であり、筑北地域の観光地及び長野自動車道へのアクセス道路としても利用されている。このうち、麻績村 梶浦～本町間は、幅員狭小でセンターラインが無い区間が存在し、円滑な走行に支障が生じている。また、長野自動車道麻績～安曇野間の通行止が生じた際の代替路となる路線でもある。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	国道403号道路期成同盟会から円滑で安全な交通の確保について要望がある。(平成26年7月28日、平成27年7月17日、平成28年7月25日)
③事業説明等の経緯	平成28年9月9日に地元説明会実施(梶原地区)
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野県地域防災計画(第1次 緊急輸送路)
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	家屋への影響を少なくした道路線形を検討し、生活環境へ配慮した計画とする。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、安全な通行が確保されることにより周辺観光地の活性化も期待される。
⑦その他	ルート比較検討によりコスト削減に努めている。

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 138° 3' 17.9"
東経:E 36° 28' 1.53"